

茅ヶ崎市社会福祉協議会 法人化40周年

●茅ヶ崎市社会福祉協議会(以下:市社協)は、「すべての人が住みなれた地域で安心して暮らすことのできるまちづくり」を進めている民間の福祉団体です。
 ●「社協ちがさき」は、点字版、録音版も発行しています。ご希望の方は、市社協までお問い合わせください。



社会福祉法人茅ヶ崎市社会福祉協議会
会長 水島 静夫

「法人化40周年を迎えて」

社会福祉法人茅ヶ崎市社会福祉協議会(市社協)は、平成31年2月をもって法人化40周年を迎えることができました。

これは、多くの市民の皆様をはじめ、会員及び寄附者の皆様の支えと地区社会福祉協議会、民生委員・児童委員、自治会、ボランティア、福祉関係団体、行政等の皆様のご協力の賜物と深く感謝しております。

近年、高齢化・核家族化・孤立化が進み、困りごとや生きづらさを抱えた方が増えています。市社協では平成13年より地区担当職員を配置し各地区の支援に力を入れています。また、地域福祉活動計画に掲げた取り組みの一つとして、地区ボランティアセンター活動の推進を図り、地域福祉活動に尽力される方々を支援しておりますが、別図に記載のとおり、平成30年4月に活動を開始した茅ヶ崎南地区ボランティアセンターをもって、全13地区(まちぢから協議会・自治会連合会圏域)に設置されました。

国は、地域においても「支え手」「受け手」という関係を越え、地域住民や地域の多様な主体が『我が事』として加わり、人と人、人と資源が世代や分野を越えて『丸ごと』つながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに協力して創っていく「地域共生社会」の実現を掲げています。

市社協は、その先駆けとして地区社会福祉協議会が運営している地区ボランティアセンターの活動を、今後もより一層支援してまいります。

令和の時代を迎えまして、市社協はこれからも『一人ひとりを尊重し、いきいきと心豊かに暮らせるまちをつくる』ことができるよう、役員・職員が一丸となって地域福祉の支援・推進・向上に一層尽力してまいりますので、市民の皆様をはじめ、関係各位のご協力・ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

そして令和の時代へ

平成30年
茅ヶ崎市生活支援体制整備事業開始(詳細は本編2面をご覧ください)

平成29年
地区が13地区となり、年度内に13地区目の地区社協と地区ボランティアセンターが誕生



平成2年
青少年ボランティア講座(後にユースボランティア茅ヶ崎)開始



平成元年
ボランティア大学開始

平成23年
浜須賀地区・湘北地区でコーディネーター配置事業開始(地域の連携で地域課題の解決につなげていく取り組み)
以降、平成30年までに湘南地区、小和田地区、松林地区の5地区で実施



平成24年
全地区(当時12地区)に地区ボランティアセンターができる

平成5年
福祉教育の推進、出前講座開始



昭和61年
全地区(当時)に地区社協ができる

平成18年
地域福祉の担い手育成推進委員会開始(地域活動の推進役を育成する研修会)

平成16年
市社協ホームページ開設

平成15年
障害者ホームヘルプ事業所事業開始(障害がある方への家事支援・移動支援など)

平成7年
住みよい茅ヶ崎を目指した「第1次地域福祉活動計画」を策定・以降第5次まで継続中



昭和56年
市内で最初の地区社協誕生

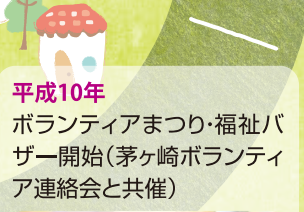
平成14年
障害者生活支援センター事業開始(障害児者の相談支援窓口)
市内で最初の地区ボランティアセンターができる



平成13年
市社協職員が担当地区を持つ地区担当制を導入



平成11年
茅ヶ崎あんしんセンター事業開始(判断能力が不十分な方の金銭管理などを支援)



平成10年
ボランティアまつり・福祉バザー開始(茅ヶ崎ボランティア連絡会と共催)



平成8年
ミニデイサービス事業開始



昭和55年
茅ヶ崎市社会福祉大会開始



昭和54年2月1日
茅ヶ崎市社協法人化

Start!